

# 南風

～ あしたは もっとたかく ～

2020南中学校通信

第2号

令和2年4月14日

校長 北村 浩久

4月10日（金）、三重県知事から出された「感染拡大阻止緊急宣言」を受け、10日（金）夕方に四日市市教育委員会から、四日市市内の公立小中学校において4月15日（水）～5月6日（水）の期間、臨時休業措置をとると連絡が入り、学校からも保護者の皆様に臨時休業についての連絡をすぐメールで配信させていただきました。

4月6日（月）に新1年生を迎え、「さあこれから勉強、部活動に頑張るぞ」と、子どもたちも令和2年度のスタートを新たに切ったばかりでしたが、急きょこのような対応をとることとなりました。

3月にも同様の措置が取られ、子どもたちだけでなく、保護者の皆様も「勉強は大丈夫だろうか？」「部活動はどうなっていくんだろう？」と不安な思いでいっぱいのことと思います。

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、日本においても東京を中心に、感染は依然拡大し続けており、終息の傾向は全く見られない状況となっています。四日市市においては、感染された方はそれほど多いわけではありませんが、現在緊急事態宣言が出されている都市においても、最初は一人の感染者からのスタートであったことを私たちも自覚しなければなりません。「四日市は大丈夫だろう」と油断をして、外出自粛や三密を避ける行動を怠れば、本市においても一気に感染拡大の危険性は高まると考えられます。

学校で勉強をはじめとした教育活動が行えないことは教育の危機的状況にあると言えます。しかしながら、今は子どもたちの安全・安心を第一に考え、国・県・市の方針に従い、感染拡大防止の取り組みを最優先して考えなければならない時期であると考えています。

今回の臨時休業に際し、学校は子どもたちや保護者の皆様の不安を少しでも取り除くために、四日市市教育委員会の指導を受けながら、対応を行ってまいりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

なお、改めて不要不急の外出、うがい・手洗い等の励行など、感染拡大防止に向けて各ご家庭でできることについて、最大限の行動をとっていただきますようお願いいたします。

## 【生徒のみなさんへ】

新年度が始まり、1年生は初めての中学校生活に、2・3年生は新しい学年でのスタートに緊張しながらも、期待と希望に胸を膨らませていたと思います。その中で3月に続く臨時休業で、みなさんの気持ちを考えると、このような対応を取らざるを得なくなった状況に先生たちも胸を痛めています。

再び臨時休業になって、勉強や部活動など、「これからどうなっていくんだろう？」と不安に思うことがたくさんあると思います。

でも、こんな時だからこそ下を向くのではなく、前向きに考えてほしいと思います。臨時休業になったことで、自分で使える時間がたっぷりできました。この時間をどう使うか。学校教育目標である「あしたはもっとたかく」を自分で実践する時間が与えられたと考え、この期間を大切に過ごしてほしいと思います。

今、世界は非常事態に陥っています。私たちにできることは自分自身の行動を見直し、感染拡大を防ぐこと。一人ひとりがこのことを心にとめて、感染拡大防止に協力して行ってほしいと思います。

また、登校日に元気な姿を見せてくれることを楽しみにしています。